

UNAHO-1007

Seasons

木原鮎子





# Seasons

木原 鮎子

1. You took advantage of me ( Lorenz Hart / Richard Rodgers ) 2'35"
2. You are too beautiful ( Lorenz Hart / Richard Rodgers ) 4'00"
3. But not for me ( Ira Gershwin / George Gershwin ) 4'03"
4. So in Love ( Cole Porter ) 3'13"
5. のびろのびろ大好きな木 ( 加藤勇喜 / Ann Sally ) 4'03"
6. Poor Butterfly ( John Golden / Raymond Hubbell ) 7'27"
7. Love you madly ( Duke Ellington ) 3'22"
8. People ( Bob Merrill / Jule Styne ) 2'46"
9. The moon's a harsh mistress ( Jimmy Webb ) 5'08"
10. Seasons ( Roland Hanna ) 4'24"

今回録音する機会を与えて下さった 真さん

ジャケットの絵を描いてくれた おじいちゃん

歌い始めてからずっとそばで見守ってくれた ちーちゃん

いつも私を支えてくれる家族のみんな、友達

音楽の楽しみを教えてくれた ミュージシャン、私の音楽を聴いて下さる方達

歌い続けていられる事に 感謝の気持ちを込め、皆さまに心より御礼申し上げます。

ありがとうございます。 木原 鮎子



M u s i c i a n s :



Ayuko Kihara [Vocal] #1~10



Makoto Nakamura [Piano] #1~10



Shintaro Nakamura [Bass] #3,4,6,7,9,10



Ryosuke Hashizume [Tenor sax] #4,7,10





# Ayuko Kihara

Vocal 木原鮎子

冬 雪に残る 足跡  
遠くから聞こえてくる 鈴の音  
憧れと そこにあり続けること

お母さんお父さんは働き 眠る  
子どもたちは遊び 本を読む

触れる 見つめる 願う 求める  
キスをする 愛しあう 呼吸をし 生きる

春 土に種をまく  
花は美しい  
自然は大きくて手を広げ  
夏 あふれる光が私を抱きしめる

## Seasons

私にとって歌うことは日常である、と  
録音の当日スタジオに向かう道で  
ふと思いました。

日々の暮らしの中に多くを見つめ、感じ  
自然が創り出すあの美しさに少しでも  
近付ける様に ありのままの自分を歌い  
そして、生きていきたいです。





# Makoto Nakamura

Pianist 中村 真

にはたづみ record 第一弾木原鮎子「Seasons」  
木原鮎子のどこが好きか、ということを真っ先に  
一つあげろといわれれば、「明るさ」だろう。

日本人は比較的wetな感性の持ち主が多いので、彼女のような  
からっとした明るさが身上という人はそれだけで貴重だ。  
また、彼女は心持ちがいい。

受動的にとっても素直だ。advice一つしても言葉が  
鮎の心にすーっと、何の抵抗もなく入っていく。

また、天性の感覚が優れている。

些末な所だが、鮎はPAのサウンドチェックの時の音の出し方が  
ずば抜けてうまい。彼女の歌のPAの調整はとても楽なのです。  
それは、感覚的に今なにを相手が要求しているかを判断する  
能力が高いということなのです。

多分彼女はそういうことを、経験として知ってるというよりは、  
感覚として知っている人なのだと思う。

事実、彼女はrecording engineerである沢口さんのことを、  
PAと呼んでいた。沢口さんと目を見合わせ苦笑したものだ。

サポートミュージシャンとして中村新太郎b、橋爪亮督tsをお願い  
した。この二人しか考えられなかった。

この二人は音色があまりにも美しい。

新太郎さんの自在なベースラインもドラムレスであるからこそ  
十分に聞き取ることが出来るし、橋爪さんの目立たない所に  
こらされたプロの工夫が聞きごたえある。

そういった部分もこのアルバムを聴く主での楽しみとなると思う。

鮎は無論完成されたミュージシャンではない。だけど、  
ぼくはレーベル第一弾として、ありのままの彼女の姿を録りたいと  
思った。

このアルバムに収録されている木原鮎子は、今彼女に出来る最高の  
物であり、そういう意味で僕の企みは大成功したと自負している。  
僕は、余裕で歌うSarah Voughnのseasonsより、  
木原鮎子の100%のそれの方が、好きだ。





# Mick Sawaguchi

Mick 沢口 沢口音楽工房 代表

Seasonsレコーディングによせて


今回のアルバムでは、  
木原さんのボーカルパフォーマンスが  
ヘッドフォンモニターをせず、  
いつもの距離感で発揮できることを優先しました。

このためミュージシャン相互の呼吸が  
感じられるスタジオ配置を優先し  
レコーディングを行いました。

いわば、1960年代のJAZZ録音スタイルを  
今日のテクノロジーで実現した形です。

その結果。  
JAZZで大切な相互の一体感と臨場感が  
捉えられていると思います。



Produced by Makoto Nakamura   
 2011年10月29、30日 音響ハウス 第一スタジオ  
 Recording Engineer / Mix / Mastering : Mick 沢口 (沢口音楽工房)  
 Assistant Engineer : 大竹 悠太 (音響ハウス)  
 Makoto Nakamura Official Site : <http://makoppo081.web.fc2.com/>  
 Ayuko Kihara Official Site : <http://ayukokihara.web.fc2.com/>  
 Photo : Mick 沢口  
 Jacket Image : 久木田 睦夫  
 Design : 阿部 智子

Produced by  
**沢口音楽工房 Mick Sawaguchi**

Produce & Engineer by Mick Sawaguchi  
 〒180-0012 武蔵野市緑町 1-2-13 TEL: 0422-53-8021 (office) 0422-36-6252 (Unamas)  
 E-mail: [mick-sawa@u01.gate01.com](mailto:mick-sawa@u01.gate01.com) URL: <http://hw001.spaaqs.ne.jp/mick-sawa/>  
 Photo: Mick Sawaguchi Design: Ivy planning Inc.

個人的に使用する場合を除き著作権法上著作者の許可無く、CDやその他記録メディアへのコピー、ネットワーク配信サイトや  
 ネットラジオ局等への配布は、法律により禁じられています。

